

総合型クラブ育成推進フォーラム開催報告

- 創ろう、わが街元気なクラブ クラブフォーラム in みさと -

平成 19 年 10 月 24 日 (水) 19:00~21:00
美郷町西郷農村環境改善センター

平成 19 年 10 月 24 日 (水) 宮崎県美郷町西郷農村環境改善センターにおいて、総合型クラブ育成推進事業の一環として、「創ろう、わが街元気なクラブ クラブフォーラム in みさと」を開催した。このクラブフォーラムは、美郷町における総合型クラブの設立に向けた気運を高めるために、世代を超えて、誰もが一緒になってスポーツの楽しさを味わえる実技講演会と、そうした活動場所・機会としての総合型クラブに関する情報提供といった二部構成で実施し、美郷町に住む、子どもから高齢者まで総勢 153 名が参加した。

第一部では、世代を超えて一緒に汗を流しながら、スポーツの楽しさや喜びなどを体験してもらうためのプログラムとして「みんなで楽しむバレーボール教室」を女子バレーボール元オリンピック日本代表選手である杉山明美氏に指導していただいた。実技の指導内容としては、ジャンケンを使った簡単なコーディネーショントレーニングを実施し、参加者同士及び関係者間の気軽な雰囲気づくりから始まった。特に、杉山氏からの分かりやすい言葉遣い(表現)と懇切丁寧な指導に、子どもたちは真剣に取り組み、元気な声が体育館いっぱいに響き渡った。最後は、ある一人の子どもにスパイクの模範をさせながら、杉山氏の「そう、そういう感じで打つよ。上手になったね」という励ましの言葉に対して、子どもたちから「楽しかったあ！バレーボールが上手になったような気がする！」と、汗を拭きながら嬉しそうな顔で話してくれたのが印象的だった。



寧な指導に、子どもたちは真剣に取り組み、元気な声が体育館いっぱいに響き渡った。最後は、ある一人の子どもにスパイクの模範をさせながら、杉山氏の「そう、そういう感じで打つよ。上手になったね」という励ましの言葉に対して、子どもたちから「楽しかったあ！バレーボールが上手になったような気がする！」と、汗を拭きながら嬉しそうな顔で話してくれたのが印象的だった。

第二部は、美郷町の方々に総合型クラブはなぜ必要なのかについて考えてもらうために、「宮崎県内の総合型地域スポーツクラブ事情」というテーマで、九州ブロック地方企画班員の奥松成安氏

に情報提供をしていただいた。その間、実技教室に参加した子どもたちは、杉山氏との「ふれあい時間」を楽しみ、会場内には子どもたちの嬉しそうな声がわき上がっていた。講演では、宮崎県内における総合型クラブの設立状況から始められ、スポーツを取り巻く環境や地域社会における問題・課題、総合型クラブの意義と必要性について説明していただいた。また、奥松氏が携わった宮崎県えびの市における総合型クラブづくりの現状とこれからのクラブづくり計画について詳しく説明していただいた。特に、真幸地区における行政と住民の熱心なクラブづくりの成果である「真幸ホットほっとクラブ」の事例を紹介していただき、「スポーツ・文化を通して豊かな町づくりを目指します。あなたの夢を、地域の夢をかなえます」といったクラブ理念・目的が非常に印象的だった。最後は、クラブづくりのあり方やクラブ運営の基本について話をされ、「理想を求めず、現実に即したクラブづくりを推進する」「10年、20年後、理想に近づける」「小さく産んで大きく育てる」といったクラブづくりのあり方には共感できるものがあった。



ご協力をいただいた美郷町教育委員会の方々にも、このようなクラブフォーラムを通して総合型クラブに興味・関心を持っていただけたように感じた。宮崎県では現在 17 クラブ中 10 クラブが設立され、7 クラブが設立準備中であるので、今後、このような総合型クラブ育成啓発活動の積極的な実施により、多くの総合型クラブが設立されることを願っている。

(報告：九州ブロック地方企画班長 中西 純司)